

(2) 卒業要件・進級要件・進級に関する規程

卒業して学位（福祉コミュニティ学科は「学士（社会福祉学）」、臨床心理学科は「学士（臨床心理学）」）を得るためには、4年以上（最高8年）在学し、下記の授業科目所定の単位を修得する必要があります。

学士の学位取得に必要な単位数およびその内容に関する規程は、きわめて厳格なもので、1単位でも不足したり、間違いがあると卒業できません。

なお、入学年度により卒業要件・進級要件・進級に関する規程が異なるため、必ず入学年度に注意して確認してください。

a 2017年度以降入学者の卒業要件・進級要件・進級に関する規程

(a) 卒業要件

卒業所要単位数 2017年度以降入学者

<福祉コミュニティ学科 2017年度以降入学者>

科目分類	科目群	単位規定	
総合教育科目	学部共通科目	6単位以上 ※1	30単位以上
	視野形成科目		
	情報・調査系科目		
	言語コミュニケーション科目	10単位以上	
専門教育科目	専門基礎科目	8単位以上	80単位以上
	専門基幹科目	10単位以上	
	専門展開科目	規定せず	
	演習・実習科目※2	12単位必修	
	自由科目 ※3	20単位以内	
卒業に必要な単位数			124単位以上

★第4年次においては、4単位以上修得することが必要です。この「4単位以上」は、次の2つの条件をともに満たす科目に限られます。

①履修登録をする科目 ②学部の卒業所要単位となる科目

なお、教職・資格科目、認定課外実習認定単位、スタディ・アプロード認定単位、外国語試験認定単位はこの「4単位以上」には含まれません。

※1「基礎演習（I・II）」は必修

※2「専門演習Ⅰ（A・B）」「専門演習Ⅱ（A・B）」「専門演習Ⅲ（A・B）」は必修

※3「自由科目」（20単位以内）にて認定する科目は以下のとおりです。

①他学部公開科目（16単位以内）、②短期語学研修（上限規定せず）、③国際インターンシップ、④国際ボランティア、⑤グローバル・オープン科目（上限規定せず）、⑥成績優秀者他学部科目履修（上限規定せず）

＜臨床心理学科 2017年度以降入学者＞

科目分類	科目群	単位規定	
総合教育科目	学部共通科目	10単位必修 ※1	30単位以上
	視野形成科目		
	情報・調査系科目	10単位以上	
	言語コミュニケーション科目		
専門教育科目	専門基礎科目	8単位必修	80単位以上
	専門基幹科目	8単位必修 ※2 16単位以上	
	専門展開科目	規定せず	
	演習・実習科目	16単位必修	
	自由科目 ※3	20単位以内	
卒業に必要な単位数			124単位以上

★第4年次においては、4単位以上修得することが必要です。この「4単位以上」は、次の2つの条件をともに満たす科目に限られます。

①履修登録をする科目 ②学部の卒業所要単位となる科目

なお、教職・資格科目、認定課外実習認定単位、スタディ・アブロード認定単位、外国語試験認定単位はこの「4単位以上」には含まれません。

※1「基礎演習（Ⅰ・Ⅱ）」「心理データ解析Ⅰ」「心理データ解析Ⅱ」は必修

※2「臨床心理学Ⅰ」「心理検査法Ⅰ」「発達心理学」「心理療法Ⅰ」は必修

※3「自由科目」（20単位以内）にて認定する科目は以下のとおりです。

①他学部公開科目（16単位以内）、②短期語学研修（上限規定せず）、③国際インターンシップ、④国際ボランティア、⑤グローバル・オープン科目（上限規定せず）、⑥成績優秀者他学部科目履修（上限規定せず）

＜同一学年に留まった（留級、卒業保留）場合の進級・卒業要件＞＜2学科共通＞

※4カ年以上在籍し、卒業所要単位を修得見込みの者で9月卒業を希望する場合は、年度始めに申請が必要となるので必ず掲示を参照してください。

※春学期に休学した場合においても、各年次で通算して1年以上在学し、卒業要件を満たしていれば年度末に卒業となります。

(b) 進級要件

進級については次の「進級に関する規程（現代福祉学部）」により行われます。＜2学科共通＞

「進級に関する規程（現代福祉学部）」（2017年度以降入学者適用）

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに20単位以上を修得していなければならない。ただし、入学前に他大学等で修得した単位を卒業所要単位として教授会に認定された場合は、認定単位の他に本学において4単位以上修得したうえで前記要件を満たしていなければならない。

第2条 第2年次から第3年次へ進級する者は、第2年次修了までに40単位以上を修得していなければならない。

第3条 第3年次から第4年次へ進級する者は、第3年次修了までに第2項又は第3項に規定する各学科の修了要件を満たしたうえで、80単位以上を修得していなければならない。ただし、SSI所属の学生については、各項第2号及び第3号を修了要件としないものとする。

(2) 科目登録上の注意

科目登録をする際には、時間割表等の注意書きをよく読んで誤りがないよう注意してください。以下に示す科目の履修登録は特に注意してください。

①クラス指定科目

以下の科目はクラスを指定しているので必ず指定された授業を登録してください。

「英語1」「英語3」「中国語」「基礎演習（I・II）」「心理学基礎実験I・II※」「心理データ解析I・II※」「心理検査法I・II※」 ※は臨床心理学科のみ

②受講者制限科目

受講定員が設けられている科目は4月に抽選を行うので必ず参加してください。なお、当選した際には削除ができませんので、注意して下さい。

Webによる抽選科目：「スポーツ総合（I・II）*」「英語7・8・10」「国際コミュニケーション英語1A～3B」「コンピュータ入門I・II」「WEBデザイン」「芸術療法」「心理測定法I・II※」「基礎数学I・II」「投映法特論※」など

*は2017年度以降入学者のみ ※は臨床心理学科のみ

- ・春学期・秋学期それぞれ初回の授業には必ず出席し、担当教員の指示に従ってください。
- ・同一時限に2科目以上の登録はできません。また、一度履修し単位を修得した科目を次年度以降重複して登録することはできません。
- ・市ヶ谷キャンパスの公開科目を履修する場合、同一曜日・授業期間（春学期・秋学期）に多摩キャンパスの科目を履修することは出来ません。（公開科目の履修は3年生以上）

(3) 履修登録単位の上限

1年間に履修できる単位は学科ごと、学年別に定められています。また、カリキュラムが異なることから、入学年度別の定めがあるので注意しましょう。

①福祉コミュニティ学科

1年間に履修登録可能な単位（上限単位）は以下のとおりです。

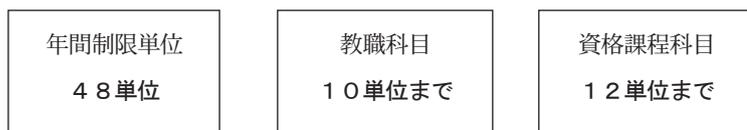
1年次 48単位
 2年次 46単位 + 秋学期登録科目
 3年次 48単位
 4年次 48単位

上記の上限単位数+再・未履修科目※を履修する場合は、各年次49単位を上限として履修ができます。履修登録単位の上限は前年度に修得した単位にかかわらず、各年次とも49単位が上限です。前年度までに未修得単位が多い場合には注意が必要です。

※「再履修」 下級年次において、登録した科目を履修した結果、不合格となった単位分について不足単位数を補てんするために履修すること

※「未履修」 下級年次に履修できる単位数の上限まで達しなかったため、未履修となった単位分について不足単位数を補てんするために履修すること

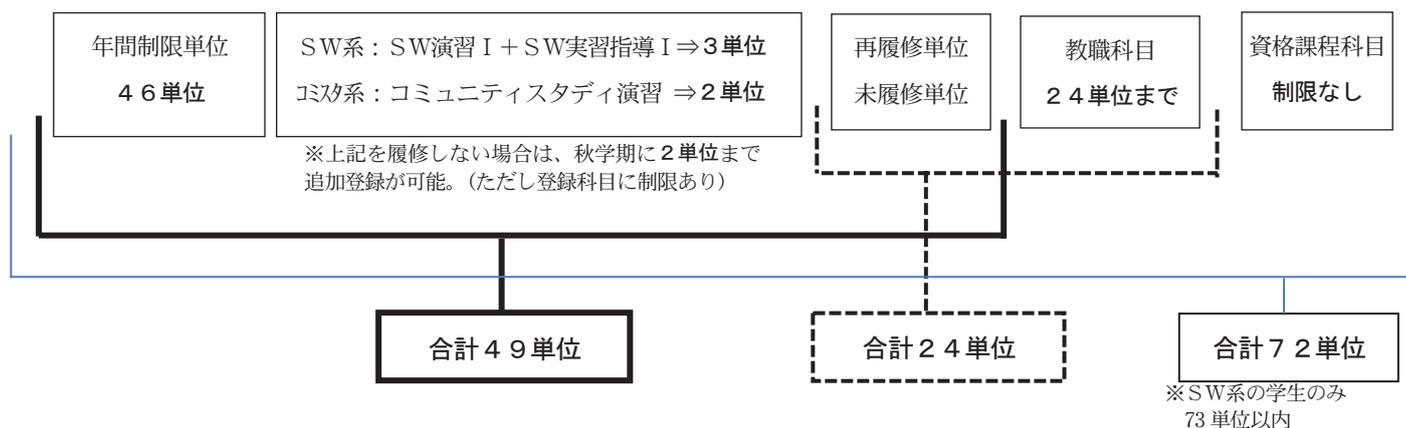
【1年次】



☆インテンシヴ・イングリッシュ受講者は③を参照すること。

【2年次】

秋学期追加登録単位 (登録作業は事務課で行う)



☆2年次秋学期履修の「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」または「コミュニティスタディ演習」の登録は6～7月の実習希望仮登録後に事務課にて追加登録作業を行います。

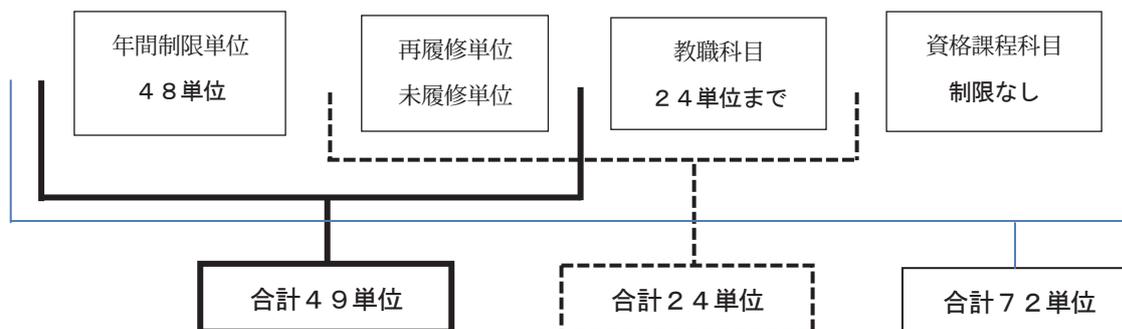
☆2年次秋学期に「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」または「コミュニティスタディ演習」を履修しない場合は、その代替に秋学期開始後の定められた期間内において履修登録科目の追加ができます。ただし、秋学期開講科目に限ります。なお、追加登録できる科目には制限があるので詳細は掲示を確認すること。

☆2年次の教職関係科目の履修単位は、再履修・未履修単位と合わせて24単位まで履修できます。

☆2年次の資格課程関係科目については、履修単位に上限を設けていないため、2年次の年間制限単位(46単位＋秋学期登録科目)に24単位を加算した範囲(72単位)で履修することができます。

☆インテンシヴ・イングリッシュ受講者は③を参照すること。

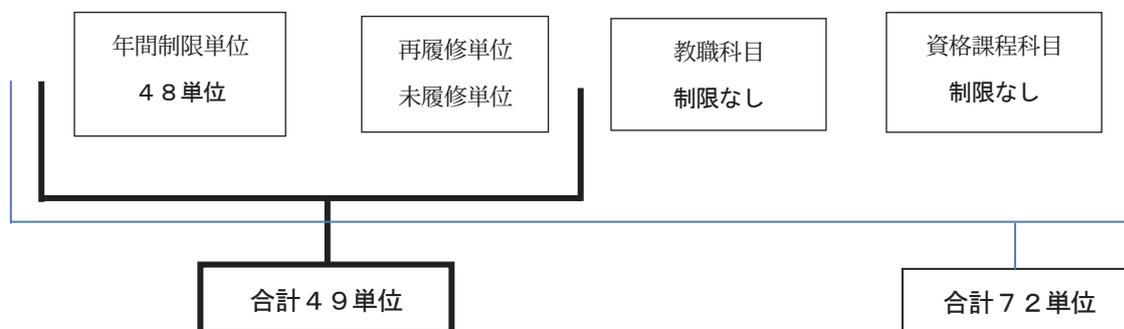
【3年次】



☆3年次の教職関係科目の履修単位は、再履修科目・未履修科目を合わせて24単位を限度として履修できます。

☆3年次の資格課程関係科目については、履修単位に上限を設けていないため、3年次の年間制限単位（48単位）に24単位を加算した範囲（72単位）で履修することができます。

【4年次】



☆4年次の教職関係科目および資格課程関係科目については、各々履修単位に上限を設けてないため、4年次の年間制限単位（48単位）に24単位を加算した範囲で履修することができます。

☆卒業保留者の年間履修上限……4年次と同様とする。

②臨床心理学科

1年間に履修登録可能な単位（上限単位）は以下のとおりです。

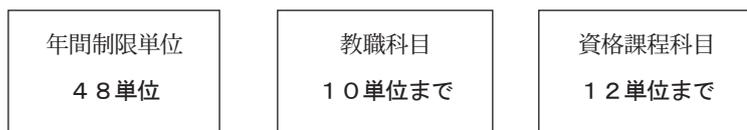
1年次	48単位
2年次	48単位
3年次	48単位
4年次	48単位

上記の上限単位数+再・未履修科目※を履修する場合は、各年次49単位を上限として履修ができます。履修登録単位の上限は前年度に修得した単位にかかわらず、各年次とも49単位が上限です。前年度までに未修得単位が多い場合には注意が必要です。

※「再履修」 下級年次において、登録した科目を履修した結果、不合格となった単位分について不足単位数を補てんするために履修すること

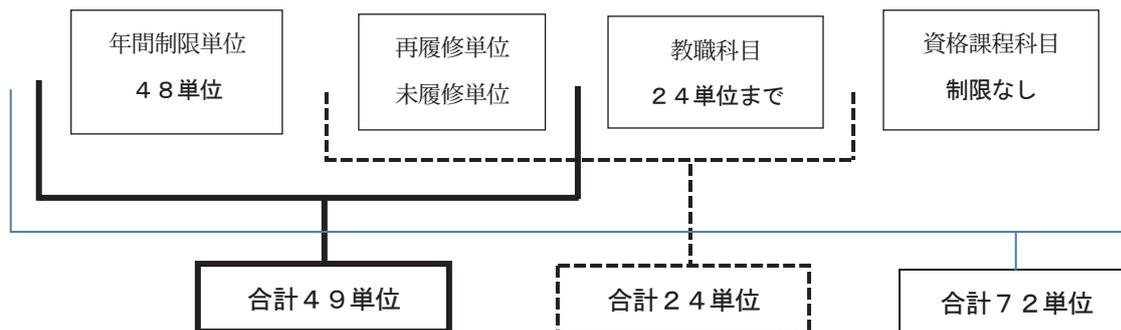
※「未履修」 下級年次に履修できる単位数の上限まで達しなかったため、未履修となった単位分について不足単位数を補てんするために履修すること

【1年次】



☆インテンシヴ・イングリッシュ受講者は③を参照すること。

【2年次】【3年次】

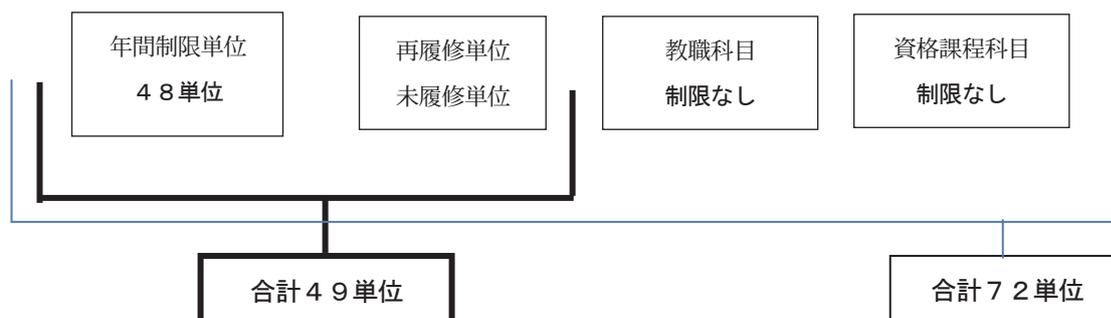


☆2・3年次の教職関係科目の履修単位は、再履修・未履修単位と合わせて24単位まで履修できます。

☆2・3年次の資格課程関係科目については、履修単位に上限を設けていないため、2・3年次の年間制限単位（48単位）に24単位を加算した範囲（72単位）で履修することができます。

☆インテンシヴ・イングリッシュ受講者は③を参照すること。

【4年次】



☆4年次の教職関係科目および資格課程関係科目については、各々履修単位に上限を設けていないため、4年次の年間制限単位（48単位）に24単位を加算した範囲で履修することができます。

☆卒業保留者の年間履修上限……4年次と同様とする。

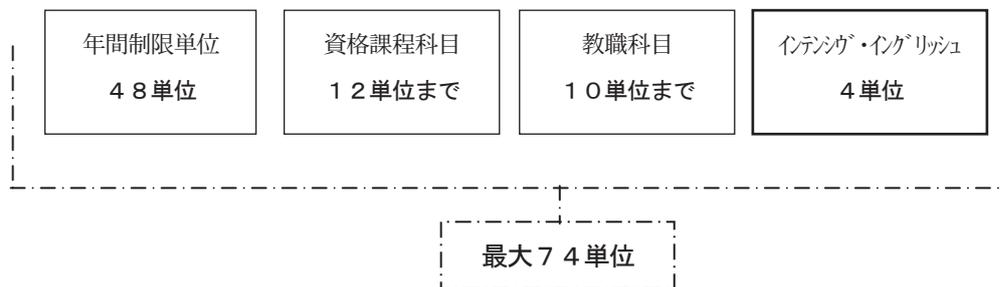
③インテンシヴ・イングリッシュ受講者（福祉コミュニティ学科・臨床心理学科共通）

インテンシヴ・イングリッシュの履修単位は年間制限単位の上限に制限されません。

そのため、インテンシヴ・イングリッシュ受講者は、各学科各年次の履修上限にインテンシヴ・イングリッシュの履修単位を追加して履修することができます。

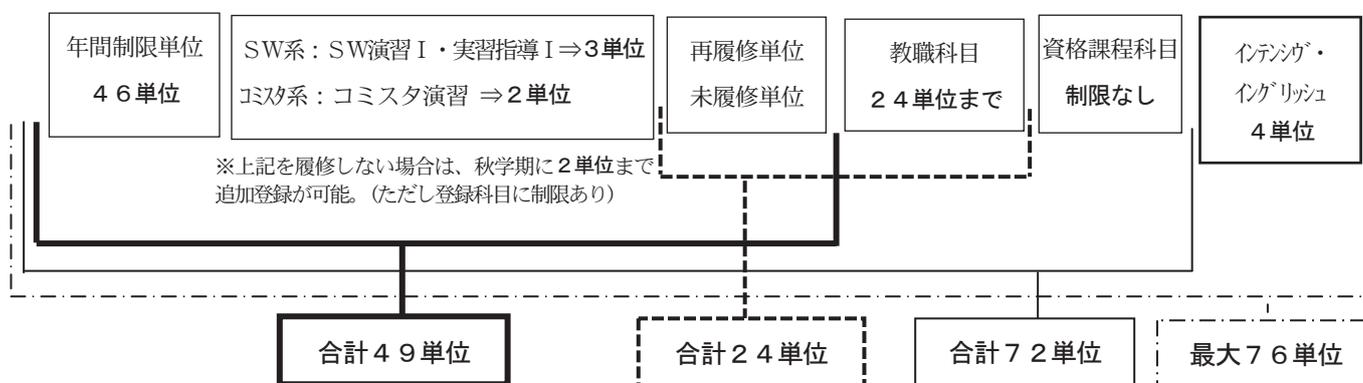
【1年次】

福祉コミュニティ学科・臨床心理学科共通

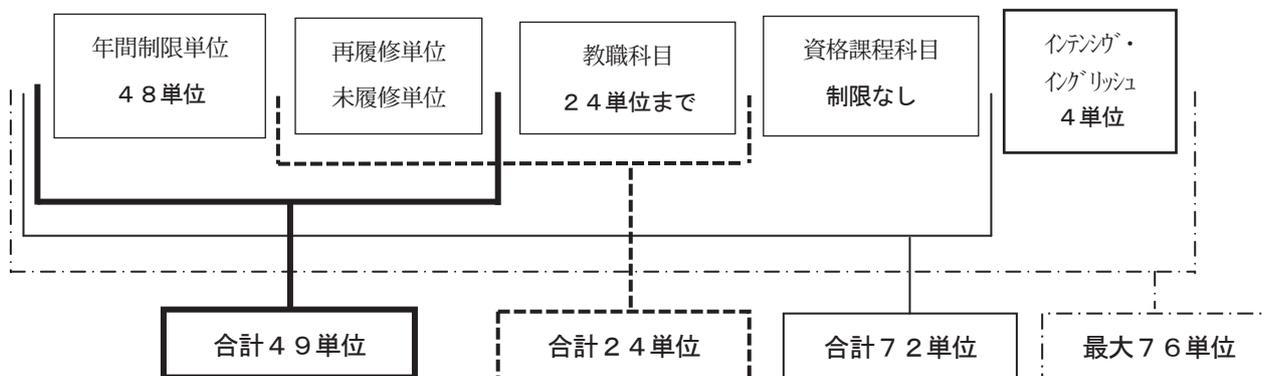


【2年次】

福祉コミュニティ学科



臨床心理学科



※ただし、インテシヴ・イングリッシュを含め、制限単位を上限まで修得するのは非常に大変です。
綿密な履修計画を立てた上で登録してください。